

## 「第3回まちづくり市民会議」議事要旨

- アドバイザー・事務局含め全45名中、37名参加
- 上記他、傍聴に会津若松市議会議員1名、高校生1名参加
- 以下、次第に即して記載

### (1) 開会挨拶（薄議長）

- ・5月24日開催のキックオフ・フォーラムについては、参画された委員の皆さんの主体的な運営により計60名が参加され無事終了となった。
- ・グループワークを通じて、自治基本条例に係る議論を掘り下げていきたい。

### (2) グループワーク

#### ①実施内容：別添配布資料参照（副議長・事務局説明）

##### ○質疑応答

###### 【委員】

各課題について、市民の役割については議論ができるとしても、議会・行政の役割・できることについては知識が無いので議論ができないのではと思うがどうか？

###### ⇒【副議長回答】

知識があることを前提に議論頂くのではなく、委員の皆さんが議会・行政に求めるもの・担ってほしい役割について議論頂きたい。

###### 【委員】

町内会の活性化や雇用の確保等、広範な議論になると想定され、時間内に議論が終わらないと思われるがどうか？

###### ⇒【副議長回答】

今回、課題を4つ設定したが、ある程度課題を絞り込んで議論頂いてもかまわない。

#### ②発表内容：別添発表内容参照

### (3) 会議総括（薄議長）

- ・発表内容より、各グループ共通の事項として市民の積極的な参加や議会が実情を把握する、行政が実情を把握して施策に反映させるといったことの必要性を見出すことができる。
- ・次回辻山先生をお招きし、今回の発表内容をどのようにルール化（例えば市民参加・参画や地産地消等）できるかアドバイスを頂くこととしたい。
- ・辻山先生のアドバイスを通じて、ルールをつくることにより身近な課題の解決にどう結びつけていけるのか、イメージの共有ができればと思う。

(4) その他(事務局説明)

- ・市民会議取組状況の市HPでの随時公表やFMあいづを通じた周知、今後のスケジュールについて説明。

(5) 全体を通しての質疑応答

【委員】

議事の各所で質疑応答の場面を設けてほしい。

⇒【副議長回答】

現行設けているつもりだが、さらに意識して設けていきたい。

以上